

緩和治療科コラム

7. COVID-19 と緩和ケア

緩和治療科 科長 山川 宣

COVID-19 の猛威により、海外では、60才以上には人工呼吸器を付けない、といった命のトリアージをする状況まで追い込まれています。進行が急激で、感染予防の観点から、入院治療～葬儀にいたるまで家族がかかわれない、未だかつてない終末期の姿です。

このような中で、内外で「もしもに備えて家族と話して」とACP を促進も訴えられています。しかし、これには違和感も感じます。ACP だと納得した自己選択できるのでしょうか。否、です。多くの場合、人工呼吸器を使わない選択を迫るもので、失敗した AD の轍を踏むだけです。選択しようにも、無慈悲に制限されるのですから…

どうしようもない状況での苦しみ・苦悩を和らげようと、緩和ケアは発達してきました。本当に必要なのは自己決定ではなく、「ケア」なのです。

治らない時、やりきれない時、我々医療者は何が出来るか。近代ホスピスの祖、シシリー・ソングラス女史は「not doing, but being」との言葉を遺しました。手を尽くした先の不条理に必要なものは「何かをして援助者の気持ちに楽になる」ではなく、「傍にいて一緒に苦しむ、分かち合うこと」であると。これは緩和ケアの専売特許ではなく、誰でもできることです。医療者も辛い状況で、「説明したくなる」「何かをしたくなる」時に、ほんの少しだけ、この言葉を意識するだけで、何かが変わってくると思います。

INFORMATION

腹部救急ホットライン 休日・夜間帯の運用休止について

消化器外科

平素よりご利用頂いております腹部救急ホットラインにつきまして、新型コロナウイルス感染拡大に伴う受け入れ体制などを鑑み、次の通り変更させていただきます。先生方におかれましてはご迷惑をおかけ致しますがご理解賜りますようお願い申し上げます。

《現行》 受付時間：24 時間



《変更》 受付時間：平日 8 時 30 分 ～ 17 時

※平日 17 時～翌日 8 時 30 分及び土・日・祝日は休止させていただきます。

●平日 17 時～翌日 8 時 30 分及び土・日・祝日につきましては、
078-261-6711 (代表) へお問い合わせ下さい。

連携医と集う会 開催中止のお知らせ

毎年 6 月に開催しておりました『神鋼記念病院 連携医と集う会』でございますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催を中止させていただきます。

Medical News

2020 年 5 月
Vol.155

Shinko Hospital

Contents

- 特集 診療科紹介 精神科
- 開業医探訪 Vol.52
- 緩和治療科コラム
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会
神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47
TEL:078-261-6711 (代表)
FAX:078-261-6726
URL:https://shinkohp.jp
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 松本 元

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

神鋼記念病院 🔍 検索

https://shinkohp.jp

神鋼記念病院 Medical News

2020

5

特集

診療科紹介 精神科

地域の皆様、神鋼記念病院を御利用の皆様、はじめまして。2020 年 4 月 1 日付で精神科科長として着任致しました辻本です。出身は大阪の泉州で、九州へ渡って大分医科大学（現：大分大学）へ進学し 1991 年に卒業して帰阪、それから主に総合病院精神科で勤務して来ました。前の職場は関西労災病院で、当院と似た市中（尼崎市）の急性期病院（常勤精神科医は 3 人）でした。在職中に阪神淡路大震災に遭ったり結婚したり、良い事もそうでない事も様々な経験をしました。途中で精神科病床が無くなり、それからは、院外向けの一般外来の他に、産業精神衛生（産業医活動など）、コンサルテーションリエゾン（院内往診）、緩和医療（緩和ケアチーム活動）、などに集中的に取り組んで来ました。病院での業務以外には裁判所からの依頼で刑事事件の司法鑑定にも時々従事しました（そんなに有名な事件は手がけていませんが）。



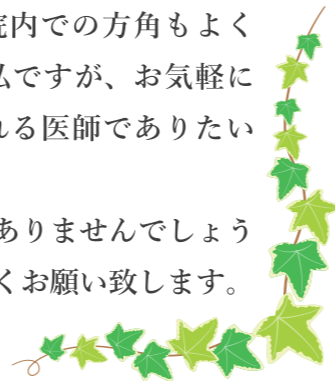
精神科 科長 辻本 浩
Hiroshi Tsujimoto

大分医科大学(現:大分大学)を平成3年に卒業。日本医師会認定産業医、精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医・指導医などの資格を持つ。

職場のストレス関連で心身を病んだ方、加齢に伴い認知機能が低下して生活への支障が目立って来た方、精神的な診断や診療科スタッフへの助言を必要としている入院中の方、などを多く診て来ました。病棟の『せん妄』患者は1000人以上は診たと思います。私は精神科医ですので当然「精神」面を焦点に患者と向き合って来たわけですが、臨床での実体験を通して、体調を崩して様々な辛さや痛みを感じている「その人」の「今とこれからの生活」が大切なのだ、医学的客観的な正しさより人の「納得・満足（気が済む）」「不安」の方が治療の場の方向性を大きく左右するのだ、と痛切に感じました。

実際には住んだ事がないのに尼崎の市民かと錯覚するくらい前の職場に長く居ましたが、この度、人事異動のタイミングとなり、以前から緩和ケアチームとの御縁があった事などから、幸いにも当院で勤務する機会を得る事が出来ました。今までの臨床経験を生かせる環境ですし、周囲の方々にも親切にいただき、職場は活気があり雰囲気も良く、まだ着任して日が浅いですがとてもありがたく感じながら春のスタートを過ごしております。これも何かの縁なのか昨春には神戸市内に転居しており、これで居住地も勤務地も神戸市内となりました。今は神戸

が地元です。市中一般病院で出来る当たり前に普通の医療を出来るだけ上質なレベルで提供する、自分のしたい事を選び好みせずその時の現場で求められている事を専門的にする、というのが、何処に異動しても変わらない臨床医としての私が意識する目標です。最先端の高度な学術研究レベルの知識や技術は正直得意ではありませんし、さすがにもう若いとは言えない年齢ですが、現場で今の自分に出来る事を意識して神鋼記念病院と地域の医療のために尽くしたいと思っております。院内での診療ではコンサルタント的な立場にある事を常に意識して、患者に限らず診療科や病棟など相手側の事情や気持ちを重視して活動していくつもりです。当院で一人だけの精神科医なので院外向けの一般外来の拡充にはある程度（月単位）の時間をかける予定ですが、院外の地域医療機関の皆様とも「顔の見える」以上の良い関係性を作っていけたらと考えています。診療科間や多職種での協働・連携を大事にしたいので、まだ院内での方角もよく分からずウロウロしている私ですが、お気軽にお声をかけてもらい活用される医師でありたいと思っています。お困りな事や気がかりな事はありませんでしょうか？ これから何とぞよろしくお願い致します。



■ 新入職医師（4月1日付）

診療科	役職	氏名
精神科	部長	辻本 浩
循環器内科	医長	大西 裕之
脳神経内科	医長	村上 永尚
血液内科	医師	中村 順子
消化器内科	医師	矢野 安道
泌尿器科	医師	平田 淳一郎
総合内科	専攻医	梶浦 あかね
総合内科	専攻医	増田 光輝
総合内科	専攻医	山本 浩生
総合内科	専攻医	池内 美貴
総合内科	専攻医	小川 健仁
総合内科	専攻医	清水 亜季子
総合内科	専攻医	中村 真治

診療科	役職	氏名
消化器外科	専攻医	穴戸 裕
消化器外科	専攻医	小嶋 大也
循環器内科	専攻医	長野 知之
形成外科	専攻医	酒井 亜結美
泌尿器科	専攻医	植松 陸
脳神経外科	専攻医	田中 優也
	臨床研修医	今尾 舞
	臨床研修医	大田 聡一郎
	臨床研修医	崎須賀 涼
	臨床研修医	並木 雅嵩
	臨床研修医	藤尾 行恵
	臨床研修医	三宅 隆裕



■ 退職した医師（3月31日付）

診療科	役職	氏名
病理診断科	部長	市川 一仁
循環器内科	医長	今西 純一
消化器外科	医長	桂 彦太郎
脳神経外科	医師	安田 貴哉
泌尿器科	医師	植木 秀登
泌尿器科	専攻医	高橋 昂佑

診療科	役職	氏名
形成外科	専攻医	仲宗根 美佳
総合内科	専攻医	向原 沙紀
消化器外科	専攻医	谷川 優麻
総合内科	専攻医	橋田 恵佑
内科	臨床研修医	太田 祐美子



開業医探訪

Vol.152 池原クリニック



今回の開業医探訪は、JR 六甲道駅北へ歩いてすぐ。内視鏡診療に取り組んでいる「池原クリニック」へお伺いしました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

1982（昭和57）年10月に父がこの場所で診療を始めました。阪神大震災では内視鏡検査台が倒れていたり大変ではありましたが、幸い建物が倒壊することなく診療を再開でき、現在に至っています。開院37年目に入り、妻と弟の応援を受けながら診療に取り組んでいます。

— どのような患者さんが来院されますか？

開院当初から内視鏡を中心とした診療に取り組んできました。父の代から受診されている方やそのご家族、知人の方々を中心に来院されています。また、灘区を中心に東灘区や中央区からも内視鏡検査を目的とした紹介受診の方も多く来て頂いています。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

内視鏡検査は、病気の早期発見のためにも定期的に受けて頂くことが大切です。しかし、検査の時に辛い思いを一度経験してしまうと、以後の内視鏡検査を敬遠されてしまいます。当院では出来る限り楽に受けてもらえるように努め、次回も安心して来院頂けるように心掛けています。そして結果説明など伝えないといけないことは、患者さんの思いを聞きながら適切に説明するようにしています。

— ひとこと

昭和大学病院勤務時は、大腸内視鏡でご高名な工藤進英教授に師事し日々研鑽してきました。その経験を生かして、下部内視鏡を中心に患者さんが安心して受けて頂けるよう引き続き内視鏡診療に取り組んでいきたいです。

池原クリニック

〒657-0028 兵庫県神戸市灘区森後町2丁目1-6

TEL：078-811-4355

院長：池原 伸直

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
16:30～18:30	○	/	○	/	○	/	/

休診 木曜、火曜午後、土曜午後、日曜、祝日